



# にしじ

## 高知医療センター 専門看護師紹介

oooooooooooo P2~5

- 高知あいうえお塩分表で塩分ぼっちり ..... P6
- 地域医療連携病院のご紹介：vol.82  
医療法人 平田会 平田病院 ..... P7
- 高知医療センター・イベント情報 ..... P8

# 8

AUGUST 2015 Vol.118



6月20日(土)に開催された平成27年度第1回高知医療センターICLSコースに参加されたみなさん

高知医療センターの理念 — 医療の主人公は患者さん —

# 高知医療センター 専門看護師紹介

## ■□ 専門看護師(Certified Nurse Specialist : CNS)とは □■

大学院での修士課程の専門コースを修了した後、日本看護協会専門看護師認定試験を受けて認定を受けた看護師です。

CNSには以下の6つの役割があります。

- ①実 践：患者さんやご家族への直接的な看護を実践します。
- ②相 談：患者さんやご家族へのケアについて、スタッフの相談にのります。
- ③教 育：勉強会や事例検討会を開催してスタッフの知識や技術の向上を支援します。
- ④調 整：治療やケアがスムーズに進むように他職種も含め関係者間の調整を行います。
- ⑤研 究：看護実践の向上のために研究を行い、また、スタッフの研究をサポートします。
- ⑥倫理調整：患者さんやご家族、その他関係する人々の権利が守られるように倫理的な問題の解決を考えます。



CNSの専門領域には、がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護の11分野があります。そのうち当センターには、6分野10名のCNSと、CNS課程修了生が在籍しています。加えて、現在、研修支援制度を活用し、大学院へ進学している看護師が3名います。それぞれが専門分野に特化した知識や技術を活用し、多職種やスタッフと協働して患者さんへのより良いケアが提供できるよう日々励んでいます。

昨年度からは「認定看護師・専門看護師実践発表会」を開催しています。今後も、院外の医療関係者の方々が活躍されている認定看護師・専門看護師とさらに繋がりを深め、高知県の看護の質向上に貢献したいと考えています。

## 私たちが高知医療センターの専門看護師です



### 精神看護

精神医療・看護の知識技術を修得している専門看護師です。精神疾患を有する患者さんやご家族の支援、身体疾患を有する患者さんやご家族の心のケアの担い手として、全フロアで活動しています。患者さんやご家族に直接お会いして心のケアを提供することもありますし、最前線で患者さんに関わっているスタッフの相談にのることもあります。

高度急性期の医療が提供される場合は、普段の日常生活から切り離された大変ストレスフルな環境です。治療経過の中で、精神的に不安定になった(なりそうな)時には、身体疾患の治療が滞らないように、精神面を安定させることが重要です。ぜひ、心のケアの専門家をご活用ください。



福田 亜紀

## がん看護

がんの患者さんやそのご家族の支援ができるよう活動しています。所属は外来ですが各入院棟へ出向き看護の充実を目指しています。がんと診断されることで生じる不安、治療について解らないこと、迷っていることを一緒に考えていきます。また痛みや食欲不振、不眠、倦怠感などの身体的症状についても苦痛が和らぐケアを提供できるよう努めています。

がん化学療法や緩和ケアについての専門家、がん看護専門看護師をご活用ください。



北添 加奈子



池田 久乃



高橋 志保

平成26年12月にがん看護専門看護師として認定をうけました。現在は6階のこやかAフロアでスタッフとして勤務をしながら、主に6階に入院しているがん患者さんや放射線治療を受けている患者さんへの看護を中心に活動しています。がんと共に一生懸命生きている患者さんの力になれるよう、日々フロア看護師やその他の医療スタッフと共に看護をしています。

放射線治療を受ける方は、ほとんどの方が初めての体験だと思います。放射線という言葉だけでも不安になると思います。そのような、放射線治療を受ける上で生じる気持ちの問題や体の問題を少しでも軽くしながら、患者さん自身が治療に主体的に取り組むことができるように支援しています。

## 母性看護

総合周産期母子医療センターである4階フロアには、産科外来、産科フロア、MFIICU(母体胎児集中治療管理室)、NICU(新生児集中治療室)、GCU(新生児治療回復室)、小児科フロアがあります。お母さんやお子さんの状態、そして成長にあわせて、産科・新生児科・小児科と入院されるフロアがわかります。入院棟が変わられても安心して過ごしていただけるように、それぞれのフロアの看護師・助産師や認定看護師、専門看護師、医師等と妊娠中から産後にわたって相談をしながら、お母さんとお子さんの治療や出産・子育ての準備をお手伝いさせていただいたり、ご自宅での過ごし方を一緒に考えたり、時には揺れるお気持ちをお伺いしたりしています。



有澤 良子

NICU(Neonatal Intensiv Care Unit)・GCU(Growing Care Unit)フロアには、小さく産まれた赤ちゃんや、産まれてすぐに治療が必要な赤ちゃんが入院されています。現在、退院支援・退院調整に関わるコーディネーターとして、主に小さく産まれた赤ちゃんや、治療をがんばっている赤ちゃんたちが、自宅や他施設で安心して安全に生活できるよう、そのお手伝いをさせていただいています。そのために、保健師や訪問看護師とともに、赤ちゃんが自宅へ帰る前や後の家庭訪問や、退院後のお子さんご家族の生活や治療に関する相談に乗っています。ご家族が赤ちゃんとの生活を始めるにあたって、これまでの生活を再構築していくことが重要です。お子さんの育つ力と、ご家族の育(はぐく)む力を支えていきたいと思っていますので、いつでもお声をおかけください。



笹山 睦美



小児フロアでは、0歳～15歳のお子さんを中心に、全ての診療科のお子さんを受け入れています。入院という日常生活とは異なる環境の中で、お子さんの成長・発達を支援して、お子さんにとって安全で最善の看護を提供できることを大切にしています。そのため、“わが子の専門家”であるご家族の方とともに、“お子さんにとって最も良いこと”を考えていきます。

お子さんが主体的に治療に臨むことができるように、そして、入院生活がお子さんにとって苦痛な体験ではなく成長につながるように、専門職が協力してお子さんに合わせた説明や環境の調整を行っています。

長く入院されていたお子さんが、普段、通園・通学されていた園や学校に戻るとき、また、治療や処置の継続が必要な場合に、お子さんとご家族は、「病気や配慮してほしいことをお友達にどのように説明したら良いのかな?」「入院する前のように、学校で生活することができるのかな?」と不安に感じられる場合があります。また、お子さんが戻られる園や学校の方々も「病院から普通の対応で大丈夫と言われたけど、どう対応してよいか悩む」「どんなことに気をつけていったらよいかな?」などと不安を抱えていることがあります。

入院生活だけではなく、退院した後も家庭の生活の中で継続して治療や処置が必要な場合や、お子さんの病気について周囲の協力を必要とする場合など、お子さんとご家族と話し合いながら、保育園や幼稚園、学校の方々と連携し、園や学校に戻るときの支援や在宅で生活をするための支援に取り組んでいます。退院後も、お子さんの成長や状況の変化により生じた課題についても、外来や地域の専門職と連携しながら検討しています。



三浦 由紀子



松岡 義典

## 急性・重症患者看護

今年3月に急性・重症患者看護専門看護師課程を修了し、現在、救命救急センター救急外来で勤務しています。急性期はもちろんのこと、回復期を経て慢性期、そして終末期から死に至る過程における急激な生命の危機状態にある患者さんやご家族に対して、専門性の高いケアを提供する役割を担っています。そして、活動の場は、病院内にとどまらず、プレホスピタル(災害現場・事故現場など)、施設、在宅なども含みます。

人として、専門職としての自分と患者さんやご家族との相互作用の中で、患者さんやご家族に向き合う姿勢を忘れず、思いに寄り添いながら、ケアとキュアのバランスのとれた最善を目指す看護を提供することを大切にしています。急性期病院から地域につながる看護を目指しています。



岡林 志穂

## 家族支援

今年の3月に家族支援専門看護師教育課程を修了し、現在のびやか7Bフロアで勤務をしています。私の専門は家族の看護を行うことです。患者さんは家族と同じ価値観や考えを共有しながら生活し、情緒的な絆を有いつながっています。家族を登場人物に加え院内での場面を切り取ると、患者さんの健康問題が家族に精神的・身体的負担を及ぼしている、互いを思うがために家族員の思いがすれ違い、患者さんの治療や療養方法が決まらないといった状況が見られます。そうした状況に対し、1人1人の家族員へのケアを行いながら、1つの集団としての家族の力を引き出し活性化させ、家族の安定を図るよう努めています。まだまだ勉強中ですが、健康問題の予防や回復、保持増進に取り組む家族の支援に取り組んでいます。

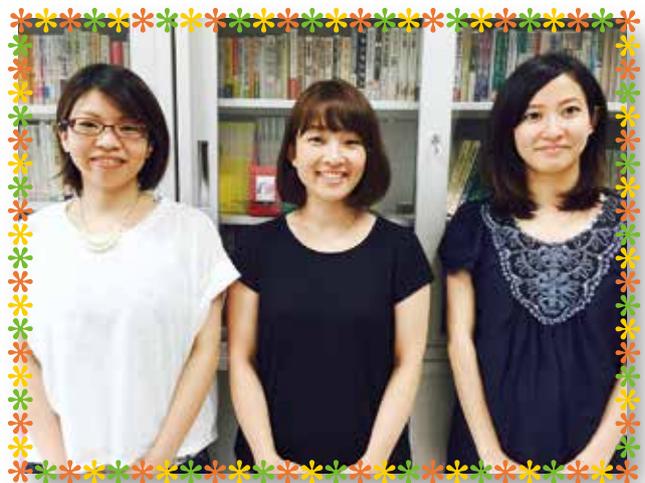


松下 由香

## 専門看護師を目指して日々勉強中です！

現在、私たちは研究休職制度を活用して、高知県立大学大学院博士前期課程(修士)CNSコースへ進学しています。クラスメイトは、経歴や専門領域も違って、授業以外にも色々な話をするだけで多くの学びがあります。授業では、知識や理論の活用方法を学んでいますが、これまでのケースや自分自身を振り返るきっかけになり、新しい視点や発見が得られています。2年間のうちに実践演習として、県外の施設にも実習に行くこともでき、高知県内だけでなく、多くのCNSの活動を実際に見ることができます。

卒業後は、再び高知医療センターで勤務しながら実践を積み重ね、専門看護師認定試験の合格を目指していきます。



左：野瀬 智代(がん看護学専攻)  
中：今西 優子(クリティカルケア看護学専攻)  
右：永井 友里(小児看護学専攻)

# 高知あいうえお塩分表 で塩分ぼっちり

栄養局 十萬 敬子・楠瀬 和佳奈

このたび「高知あいうえお塩分表」を高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会健康栄養連携部会平成26年度連携事業の一環として製作しました。

高血圧症や慢性腎臓病の方、または食塩の取りすぎを気にしている方にとって、食品や料理の食塩量を推測することは難しいものがあります。この塩分表は、食材や料理に含まれる食塩1gに相当する量が簡単に分かるように、高知県内でよく食べられている食品や料理(伝統食等)を取り入れ、高知県民のニーズに合った内容で、食材・食品名の頭文字をあいうえお順に並べた一覧表になっています。また、裏面には生活習慣の改善や減塩の工夫についてのポイントなどを掲載し、両面で活用できます。製作には健康栄養学部の学生、教員および高知医療センター栄養局の共同で取り組みました。

高知医療センターまたは高知県立大学のホームページより「高知あいうえお塩分表」のPDF ファイルをダウンロードできますので職場・ご家庭などで自由にご活用ください。

## 高知あいうえお塩分表

健康栄養連携部会ではその他、患者さんの「夢みる食べものカレンダー」作成や糖尿病レシピブックと慢性腎臓病食事療法の手引きを作成し、それぞれ料理教室を開催するなど様々な取り組みを行っております(高知医療センター・高知県立大学包括的連携協議会 健康栄養連携部会)。



患者さんの「夢みる食べもの」カレンダー



糖尿病レシピブック



慢性腎臓病(CKD)患者さんのための食事療法の手引き

調理した献立



慢性腎臓病(CKD)料理教室風景



## 医療法人 平田会 平田病院

〒780-0870  
 高知市本町5丁目4番23号  
 TEL：088-875-6221  
 FAX：088-871-3801  
 H P：http://www.hirata-hp.com

### 【診療科】

内科、泌尿器科、整形外科、リハビリ  
 テーション科、リウマチ科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	●	●	●	●	●	●	△
12:30～17:30	●	●	●	●	●	△	△

※昼休みなし (休診日：土曜日午後・日曜日・祝祭日)

医療法人 平田会 平田病院は初代院長 平田卓二が昭和14年(1939年)に外科の病院として開業、その後二代目院長(現理事長) 平田陽三が整形外科を主体とした病院へ変革し、現在三代目院長 平田茂が同様に整形を主体とし、さらに通所リハビリテーションを含め、在宅医療支援病院として地域のかかりつけ医、相談医(介護等)の役割も果たしております。

当院は昭和45年(1970年)竣工の建物ですが、平成23年に耐震、リニューアル工事を行い、安全面においても安心して療養していただける環境が整いました。

入院施設としては、20床の一般病棟、医療療養病床16床、介護療養病床32床を有し、ショートステイ(短期入所療養介護)を含め、高知医療センター等の高次機能病院では入院対象とならないような高齢者の腰痛、関節部痛等にて在宅生活が困難な状況に対して対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

また手術につきましては局麻、伝達麻酔で対応できる弾擦指(バネ指)、手根管症候群、上肢骨折ピンニング、外傷後デブリートメント、縫合等行っております。



平田院長とスタッフのみなさま



(平：平田病院、高：高知医療センター)

高：貴院が現在力を入れていることを具体的にお聞かせください。

平：リハビリテーションに力を入れています。通所リハビリを含め、在宅でできるだけ日常生活を可能とするように、日常活動訓練の充実、言語聴覚士による経口摂取訓練、居住環境の改善等のアドバイスをさせていただいています。また適応があれば訪問診療も併用させていただきます。平成26年3月より泌尿器科医師 庵地孝嗣先生をお迎えしています。排尿障害等、気軽に受診してください。

高：地域との連携や他医療機関との連携について貴院での取り組みなどお聞かせください。

平：当院通院及び入院患者様で急性期治療や専門的治療が必要な時には、高知医療センター始め、高次機能病院や、ご希望の病院へ診療情報を提供し、すみやかに転院、加療できるような体制を整えております。また、急性期治療を終えられたあと、入院が必要であれば転院を受け入れ、継続して治療、リハビリを行っております。その他、長期入院患者様に対して、口腔ケア、義歯調整等、週1回近医歯科医に来ていただいております。

高：今後、貴院が目指されていくことなどをお聞かせください。

平：一人暮らしなどで、どうしても在宅加療が不可能な状況を除いて、できる限りで自宅での日常生活が可能となるように、医師、看護師、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士及び他のコメディカルスタッフとともにチームで支援を行い、地域に根づいた病院を目指したいと思っております。

高：最後に高知医療センターとの連携についていかがですか？

平：当院から貴センターへ救急患者様の紹介や情報伝達等において、貴センター開設当初は少し不便な部分がありましたが、現在は円滑に運ぶよう体制が整えられており大変感謝しております。今後も貴院退院後継続して入院を希望される患者様や、貴院では入院対象とならないような患者様、また経過観察、投薬等で通院加療を希望される患者様がおいでしたら、お気軽に地域連携室へ相談していただき、貴センターと一層の連携を図っていきたく思っております。

ご多忙の中、取材にご協力いただきありがとうございました。

月	日	曜	高知医療センター イベント情報 8月～				
8月	8	土	<b>第38回地域医療連携研修会</b> （参加費無料・事前申込不要）				
			内容	講演1：認知症について 講演2：認知症の方への看護	場所	総合あんしんセンター 3階	
			時間	14：00～15：40	対象	医療関係者	
			講師	講演1講師：高知医療センター 副院長兼こころのサポートセンター長 山下 元司 氏 講演2講師： 同 精神看護専門看護師 福田 亜紀 氏	お問い合わせ：高知医療センター 地域医療連携室 井上・松本 TEL:088 (837) 3000		
	15	土	<b>高知医療再生機構 小児科専門医養成支援事業 協力科の先生に学ぶ 第1回</b> （参加費無料・事前申込不要）				
			内容	小児救急における集中治療管理	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール	
			時間	15：00～16：15	対象	医療関係者	
	講師	岡山大学医学部 救急科 塚原 紘平 氏	お問い合わせ：高知医療センター 小児科 西内 律雄 TEL:088 (837) 3000				
	16	日	<b>高新・高知医療センターがんセミナー・2015</b> （参加費要・事前申込要）				
			内容	知っておきたい副作用対策 ～抗がん剤と上手につき合う方法～	場所	高新文化教室（RKC高知放送南館3階37号室）	
			時間	10：30～12：00	対象	一般（40名）	
			講師	高知医療センター 薬剤局次長 宮本 典文 氏	お問い合わせ：高新文化教室 TEL:088 (825) 4322 受講料 9,850円／全12回 1,500円／1回		
16	日	<b>高知医療再生機構支援事業 胎児心臓超音波STICセミナー</b> （参加費無料・事前申込要）					
		内容	①完全大血管転位（TGA） ②総肺静脈還流異常（TAPVD） ③ファロー四徴症 ④大動脈縮窄症	場所	総合あんしんセンター 3階 中会議室		
		時間	14：00～18：00	対象	県内周産期医療関係者		
		講師	東北大学病院 総合周産期母子医療センター 川瀧 元良 氏	お問い合わせ：高知医療センター 総合周産期母子医療センター 林 和俊 TEL:088 (837) 3000			
19	水	<b>高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修</b> （参加費無料・事前申込要）					
		研修名	心のケア2-③ 怒り、攻撃性の高い患者の看護	場所	高知医療センター 1階 研修室1・2		
		講師	精神看護専門看護師 福田 亜紀 氏	時間	17：30～19：00	対象	看護師（20名）
参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ：高知医療センター 看護局 教育担当（藤原、野田、藤本） TEL:088 (837) 3000							
23	日	<b>高知県周産期症例検討会</b> （参加費無料・事前申込不要）					
		内容	出生前診断	場所	高知医療センター 2階 くろしおホール		
		時間	9：30～12：30	対象	県内周産期医療関係者		
講師	県内医療機関の産科、小児科医師	お問い合わせ：高知医療センター 事務局 経営企画課 川田 瞳 TEL:088 (837) 3000					
26	水	<b>高知医療センター看護局集合研修 他施設公開研修</b> （参加費無料・事前申込要）					
		研修名	がん看護3 放射線治療を受ける患者の看護	場所	高知医療センター 1階 研修室3		
		講師	がん看護専門看護師 高橋 志保 氏	時間	17：30～19：00	対象	看護師（20名）
		参加ご希望の方はお問い合わせください お問い合わせ：高知医療センター 看護局 教育担当（藤原、野田、藤本） TEL:088 (837) 3000					

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

## 編集後記

梅雨も明け、ひまわりの花が咲き誇る姿を見かけるようになりました。夏本番ですね。高知の8月といえば、なんといっても「よさこい祭り」。私はよさこいが大好きで、お祭りが近づくとワクワクします。参加しない年は、沿道から踊り子さんをうちわであおぐのが私の使命です(笑)。

さて、今月のにじは、栄養局より高知あいうえお塩分表のご紹介を掲載しています。塩分量って気になるけどわかりにくいですね。是非ダウンロードして健康管理にご活用くださいね！（広報誌編集担当 日林）



平成27年8月1日発行  
にじ8月号（第118号）  
毎月発行  
編集者：広報委員会  
発行者：吉川 清志  
印刷：株式会社 高陽堂印刷

発行元：  
高知県・高知市病院企業団立  
**高知医療センター**  
〒781-8555 高知県高知市池 2125-1  
TEL:088 (837) 3000 (代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp